

# 観光産業振興に向けた 新たなプランの策定について

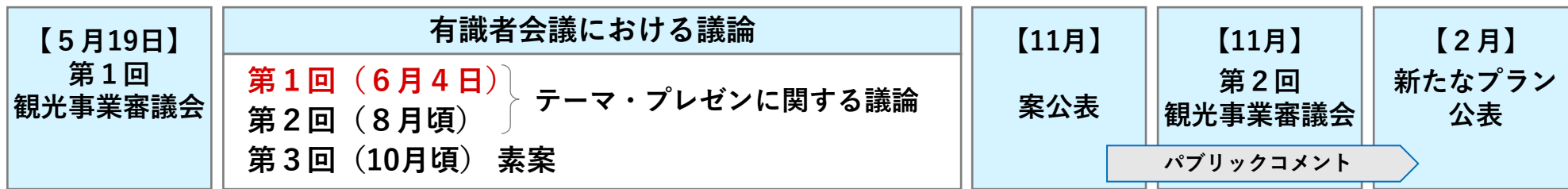
令和8年6月4日

# 1.観光産業振興に向けた新たなプランの策定について

## 今年度の有識者会議について

- 東京の観光の持続的な成長、発展に向けた新たな方針づくりをテーマとして議論
- 議論を踏まえて、観光産業振興に向けた新たなプランを策定
- 次期プランの計画期間は、2027年度から2030年度までの4か年を予定

(プラン策定スケジュール)



## 観光産業振興の主な政策目標

政策目標	2024年の状況	中間目標 (2026年) <現プラン終期>	目標値 (2030年)
国内旅行者に対する都民の受入意向	55.5%	---	50%以上
外国人旅行者に対する都民の受入意向	40.0%	---	50%以上
訪都国内旅行者数	4億7,941万人	---	6億人
訪都外国人旅行者数	2,479万人	2,000万人	3,000万人超
訪都国内旅行者消費額	5兆5,137億円	5兆3,000億円	6兆円
訪都外国人旅行者消費額	3兆9,625億円	1兆8,000億円	4兆5,000億円
国際会議開催件数	10位 (2025年)	世界5位以内	世界3位以内
東京の文化的環境を楽しんでいる人の割合	50.4%	60%	70%
都内温室効果ガス排出量	9.9%削減 (2023年)	---	50%削減

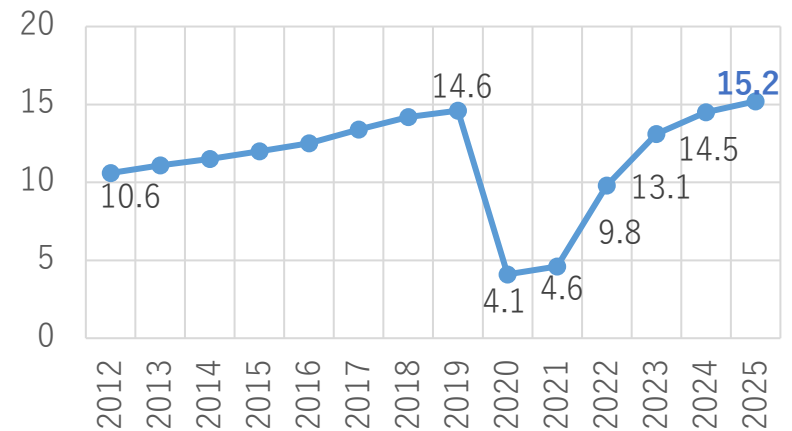
## 2.観光に関する主要動向

### 世界の観光動向と東京

## 世界の国際観光客数

- 2025年の国際観光客到着数は推定**15億2,000万人**と**コロナ禍前を上回る**
- **世界観光機関 (UN Tourism)**によると、2026年の国際観光客数は**2025年比3~4%成長**すると予測

(億人) 国際観光客到着数の推移



出典：UN Tourism World Tourism Barometer

## 世界における観光都市としての評価

- **東京は観光客から魅力的な都市として高く評価**

観光客が評価する都市ランキング

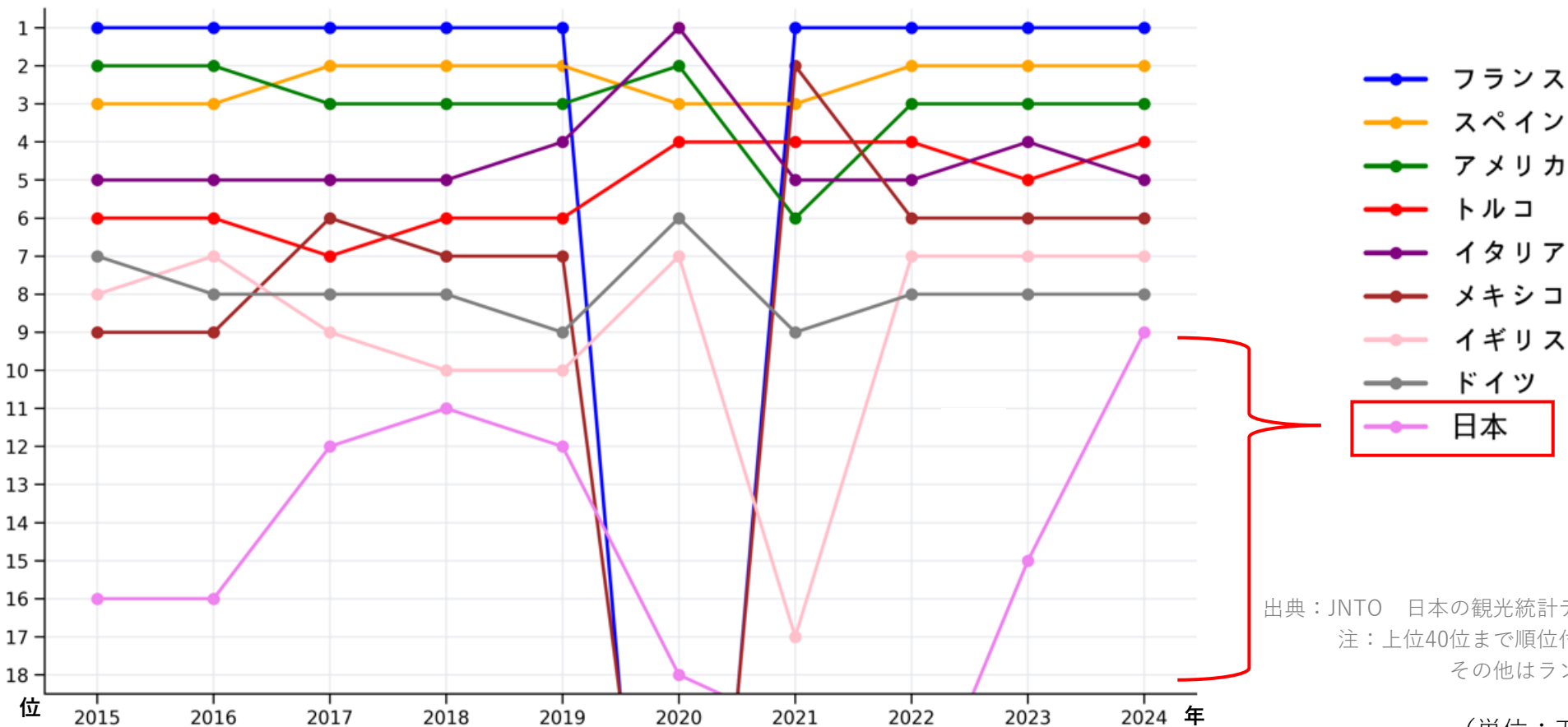
	2023年	2024年	2025年
1位	ロンドン	ロンドン	ロンドン
2位	<b>東京</b>	<b>東京</b>	<b>東京</b>
3位	パリ	パリ	パリ
4位	ドバイ	ニューヨーク	ドバイ
5位	アムステルダム	ドバイ	ニューヨーク
6位	ニューヨーク	マドリード	マドリード
7位	イスタンブール	モスクワ	モスクワ
8位	マドリード	イスタンブール	イスタンブール
9位	モスクワ	アムステルダム	バンコク
10位	シンガポール	シンガポール	上海

出典：森記念財団「Global Power City Index」Global Actor~Tourist~

# 世界各国における外国人旅行者受入数

• 日本の2024年の外国人旅行者受入数は**3,687万人**で**世界9位**

各国・地域別外国人訪問者数 2015~2024



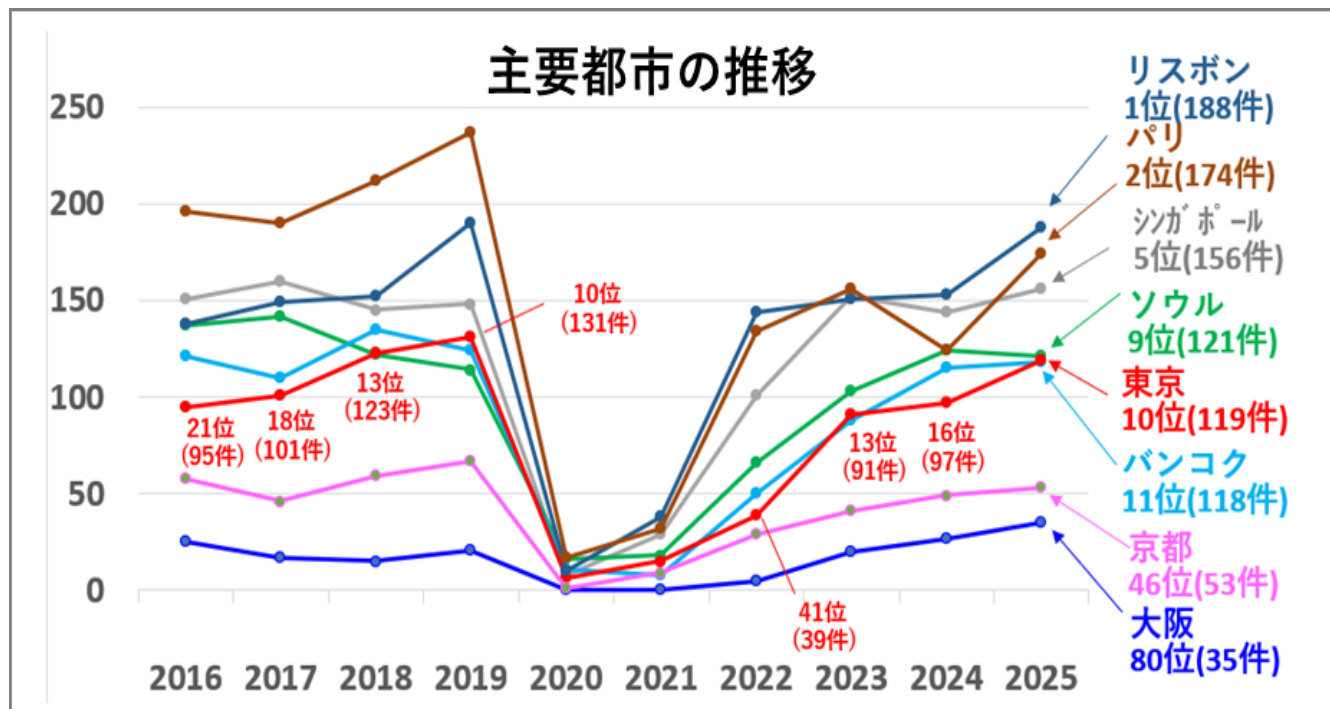
出典：JNTO 日本の観光統計データ  
注：上位40位まで順位付け、  
その他はランク外

(単位：万人)

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日本	16位 1,974	16位 2,404	12位 2,869	11位 3,119	12位 3,188	18位 412	-	-	15位 2,507	9位 3,687

# 世界各都市における国際会議の開催状況

- 2025年の開催実績で東京は10位（アジア太平洋地域では3位）



順位	都市名	開催件数
1	リスボン	188
2	パリ	174
3	バルセロナ	166
4	ウィーン	159
5	シンガポール	156
6	プラハ	133
7	コペンハーゲン	131
8	ロンドン	124
9	ソウル	121
10	東京	119

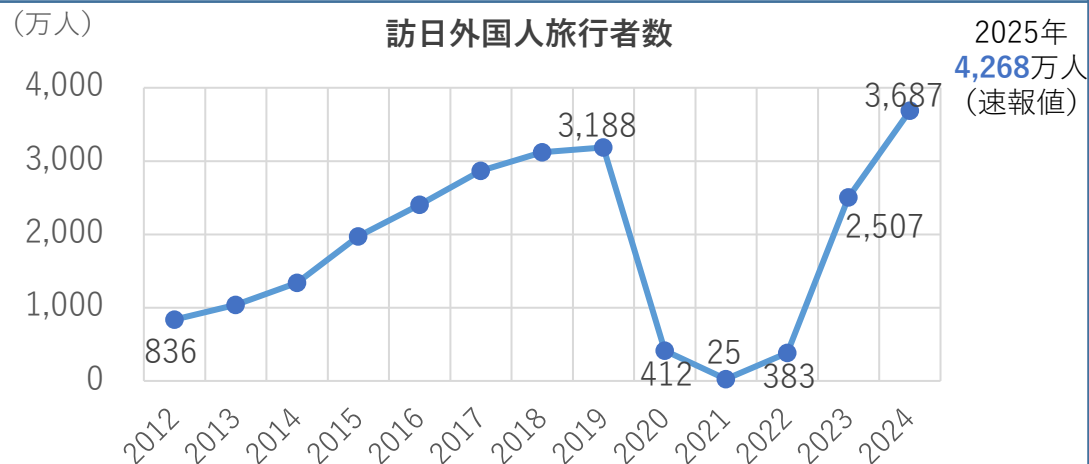
出典：JNTO国際会議統計

## 2.観光に関する主要動向

### 日本の観光動向

## 訪日外国人旅行者の推移

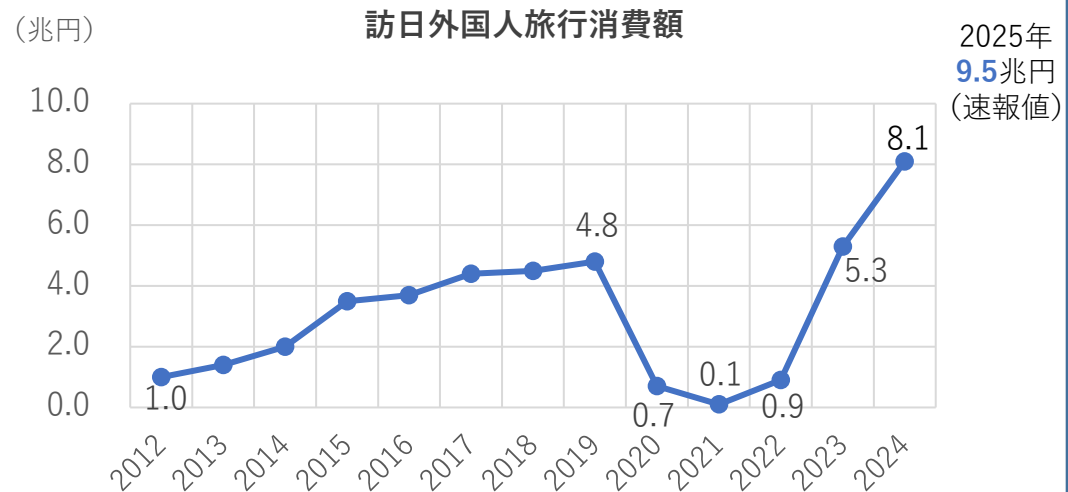
- 2020年以降、コロナ禍の影響により訪日外国人数は激減
- 2025年は4,268万人、過去最高を更新



出典：日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客数」

## 訪日外国人の消費動向

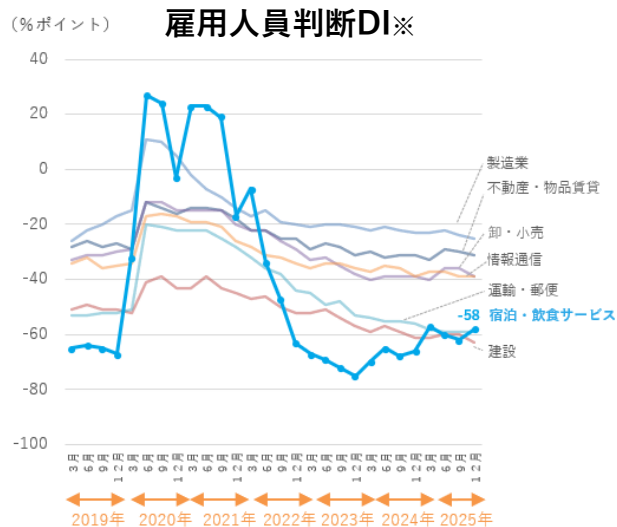
- 2025年の訪日外国人旅行消費額は、9.5兆円で過去最高を更新
- 訪日外国人1人当たり旅行支出は22.9万円で、2019年同期比44.0%増



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、「インバウンド消費動向調査」(観光庁)より東京都作成

## 観光産業における人材不足 ①（人材需給のひっ迫状況）

- 旅行需要の回復に伴い、**人材の需給がひっ迫**
- 2025年12月の**雇用人員DI**では**マイナス58ポイント**となり、**人材不足が深刻な状況**

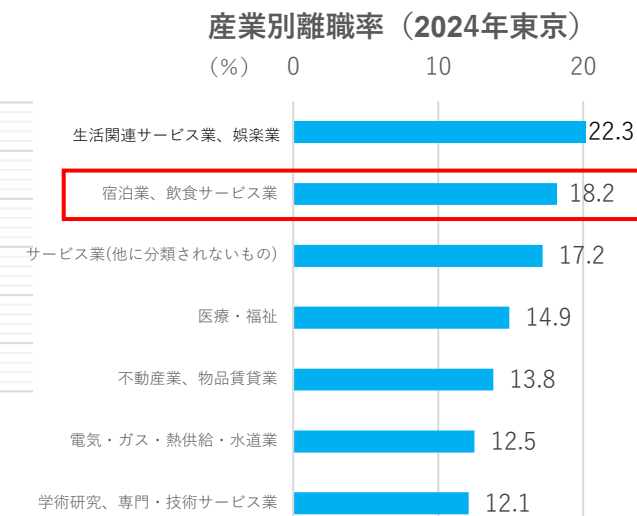
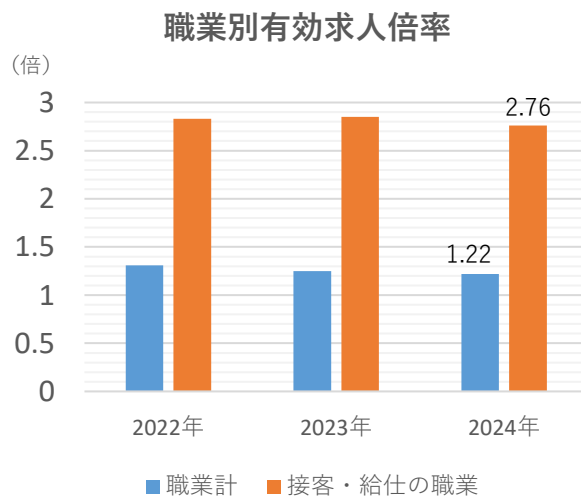


※雇用人員が「過剰」と答えた企業の割合から「不足」とした企業の割合を差し引いたもの

出典：日本銀行 全国企業短期経済観測調査（短観）

## 観光産業における人材不足 ②（有効求人倍率・離職率）

- 観光産業を支える「**接客・給仕の職業**」の**有効求人倍率**は相対的に**高い**
- 宿泊業・飲食サービス業**の**離職率**は他産業と比べて**高く、人材の定着が課題**



出典：厚生労働省「職業安定業務統計」

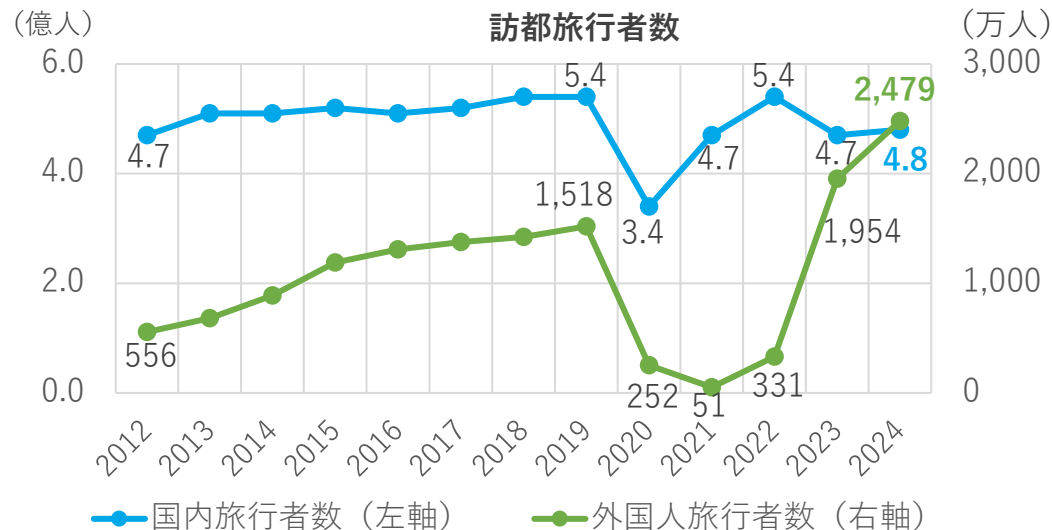
出典：「政府統計の総合窓口(e-Stat)」厚生労働省「雇用動態調査」

## 2.観光に関する主要動向

### 東京の観光動向

## 訪都旅行者数の推移

- 2024年に東京を訪れた**国内旅行者数**は約**4.8億人**、**コロナ禍前の水準**まで**未回復**
- 外国人旅行者数**は約**2,479万人**で**過去最高**を更新

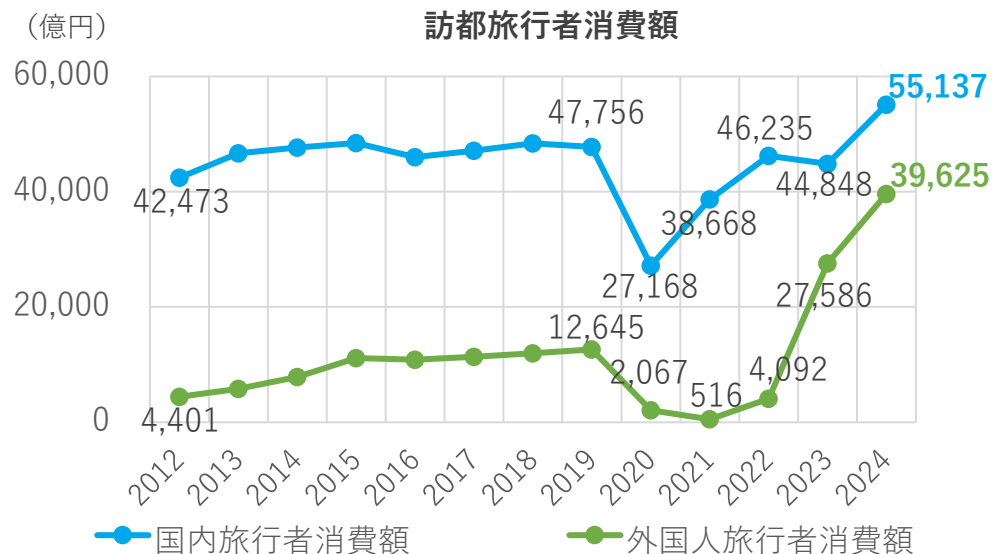


出典：東京都観光客数等実態調査

(注) 2021年は、新型コロナウイルスの影響で第1～第3四半期の調査を中止したため、第4四半期の調査結果を4倍して算出

## 訪都旅行者消費額の推移

- 国内旅行者・外国人旅行者**とも、**2024年の消費額は過去最高**



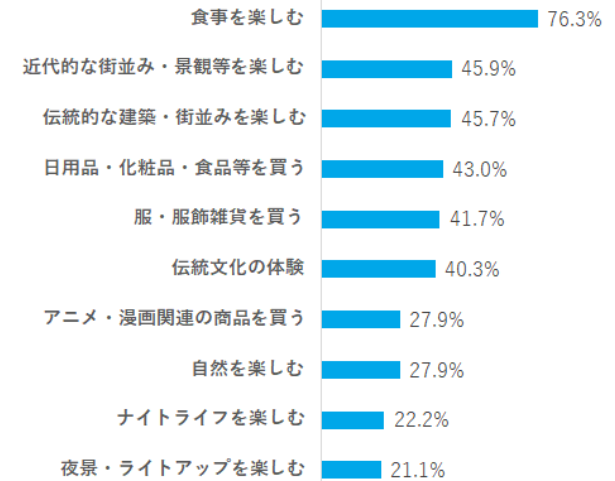
出典：東京都観光客数等実態調査

(注) 2021年は、新型コロナウイルスの影響で第1～第3四半期の調査を中止したため、第4四半期の調査結果を4倍して算出

# 外国人旅行者の訪都目的

- 外国人旅行者が東京を訪れる目的としては、**食事、街並みや景観、ショッピング、伝統文化の体験**などが上位

## 外国人旅行者の訪都目的

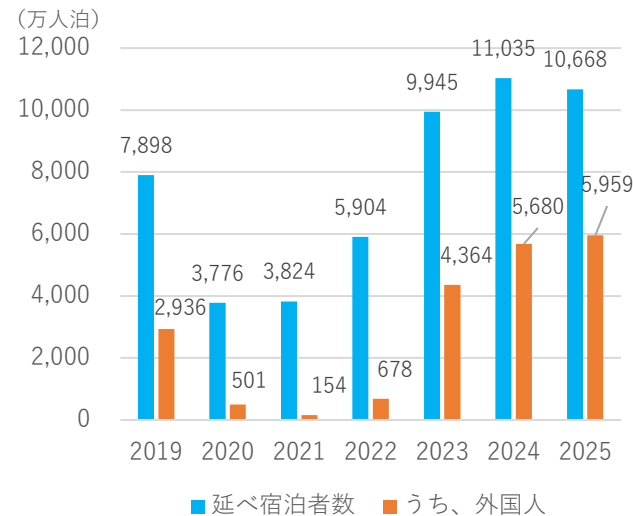


出典：東京都「令和6年 国・地域別外国人旅行者行動特性調査」

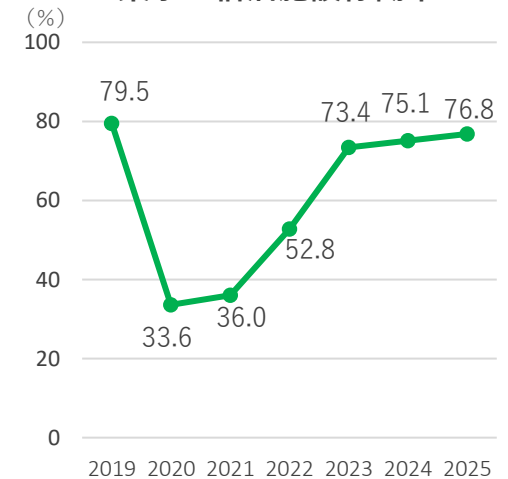
# 都内宿泊施設の状況

- 都内の延べ宿泊者数は、前年比減少するも、**外国人の延べ宿泊者数は過去最高を更新**
- 稼働率もコロナ禍前の水準に近づく

## 都内宿泊施設の延べ宿泊者数



## 東京の宿泊施設稼働率



いずれも出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」(注)2025年は速報値

## 観光と住民の生活環境との調和

- 都民は、**観光客の増加**がもたらす**効果**として、**地域経済の活性化**や**税収の増加**等を認識している
- 一方で、**日常生活に与える影響**として、**治安の悪化**や**ごみのポイ捨て増加**、**混雑**などが挙げられている

### 観光客の増加が東京にもたらす効果※

地域経済の活性化	36.6%
税収の増加	33.7%
飲食店や商業施設の増加	28.1%
雇用機会の増加	17.4%
異文化交流の促進	17.0%
交通機関や道路の充実	16.6%

### 観光客の増加が日常生活に与える影響※

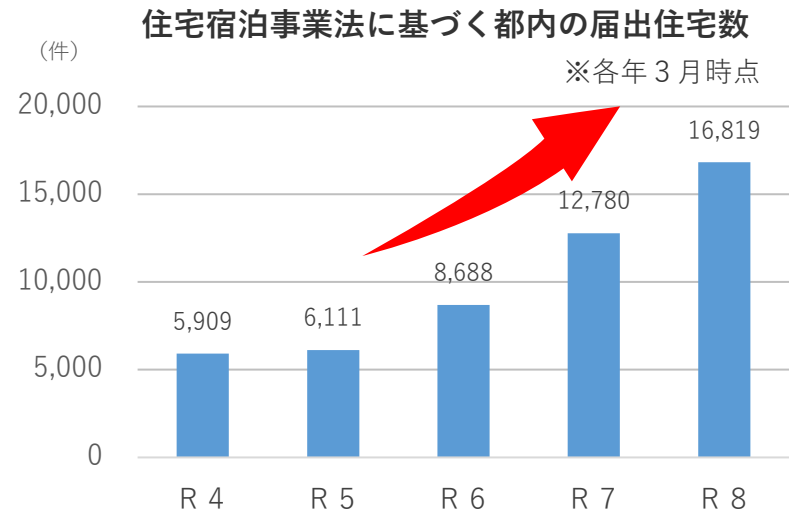
治安の悪化	41.3%
ごみのポイ捨ての増加	40.7%
交通機関や道路の混雑	34.6%
飲食店や商業施設の混雑	25.5%
文化財などへの迷惑行為	25.4%
観光客による騒音	22.4%

※複数回答

出典：東京都「令和7年度 持続可能な観光振興に向けた調査」

## 民泊の状況

- 住宅宿泊事業法**に基づく**都内の届出住宅数**は近年**増加**が続く



資料：観光庁ホームページを基に東京都作成

# 宿泊税の見直し

## 東京都宿泊税条例（一部改正）

### 〔概要〕

観光の状況をはじめとした宿泊税を取り巻く環境の変化を踏まえた見直しを図ることで、持続可能な観光振興を財政面から支えていくため、宿泊税の使途や賦課徴収について所要の改正を行う。

- 1 宿泊税の使途の範囲を、都の観光施策に関する計画に基づく施策とすることを明確化する。
- 2 課税対象に簡易宿所と民泊の利用者を追加する。
- 3 課税免除基準の額を、一人1泊当たり宿泊料金10,000円未満から13,000円未満へ引き上げる。
- 4 課税方式を定率制に変更し、宿泊料金に3%を乗じた額を税額とする。

### （現 行）

税率：宿泊料金一人1泊

10,000円以上15,000円未満の宿泊 100円

15,000円以上の宿泊 200円 ※10,000円未満は課税免除

### （改正後）

一人1泊当たり宿泊料金の3% ※13,000円未満は課税免除

- 5 申告納入の手続について、3か月に一度の申告とする特例申告の要件を緩和する。

### 〔施行期日〕

東京都規則で定める日

# 2030年を見据えたプラン策定に向けた論点

## 旅行者も住民も満足できる持続可能な観光産業振興に向け何をすべきか

### 観光産業力の強化

- ・観光業の人手不足対策  
レジリエンスの強化
- ・ナイトタイム観光
- ・ベイエリア・水辺・舟運
- ・江戸の歴史・文化の活用
- ・アニメ等エンタメ産業の振興
- ・戦略的なM I C E 誘致

### 快適性の確保・向上

- ・生活環境との調和  
(ごみ、混雑、民泊)
- ・アクセシビリティの向上
- ・安全・安心の確保
- ・観光への理解促進

### オールジャパンの取組

- ・多摩・島しょへの誘客
- ・日本各地への周遊促進
- ・効果的なプロモーション

### 共通の視点

- ・区市町村や都民、事業者など東京が一体となって観光振興に取り組む
- ・宿泊税の財源も効果的に活用し、観光産業のさらなる強化につなげていく

# PRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン2024-2026【概要】

## 第Ⅰ章 新たなプランの策定にあたって

### プラン策定の意義

- 新型コロナによる水際対策が終了し**新たなフェーズ**における施策が求められていることや観光を巡る**動向の変化**を踏まえ、**観光施策の再構築**が必要
- **2024~2026年度の3か年**に係るプランを策定。観光都市としての国際競争力を強化し「PRIME観光都市・東京」を実現

### 観光を巡る動向

- 世界の**国際観光需要**は回復しており、2023年12月の訪日外国人旅行者数は2019年同月を上回る水準
- **宿泊業等**において、**人材需給のひっ迫**や、**DX**の取組状況、**収益力**が課題
- 個人の志向・関心等により**旅行のテーマや目的が多様化**。観光に**サステナビリティ**を求める意識は世界的な高まり

## 第Ⅱ章 今後の観光産業振興の考え方

### 基本方針

- ◎ **復活した観光需要の積極的な取り込み**：東京の魅力の磨き上げ・発信により観光客を世界中から積極的に呼び込み、観光消費を拡大
- ◎ **観光における持続可能性の確保**：経済の活性化や自然環境・文化の保全、住民と旅行者の良好な関係作りなどバランスの取れた観光を推進
- ◎ **観光産業の基盤の強靱化**：宿泊業における人材不足をはじめとした観光産業の課題への対策を講じ、観光産業の一層の成長を確固たるものに

### 取組推進の視点

- **東京ならではの質の高い観光体験の提供と発信**：東京の特色を活かし、食、文化、ナイトタイム観光を重点的に強化 など
- **観光客へのサポート機能の向上**：東京の観光公式サイトを通じたエンターテインメント等のチケット購入の円滑化 など
- **日本各地との連携の促進**：関西自治体と連携した相互送客プロモーションの実施 など
- **サステナブル・ツーリズムの一層の推進**：観光客のマナー啓発、サステナビリティの確保に係る国際的な認証取得の支援 など
- **観光関連事業者の経営力強化への支援**：観光関連事業者における人材確保、DXの推進、収益力の向上の支援 など

### 主な政策目標

	2030年目標	2026年目標
訪都外国人旅行者数	3,000万人超	2,000万人
訪都国内旅行者消費額	6兆円	5兆3,000億円
訪都外国人旅行者消費額	2兆7,000億円超	1兆8,000億円
国際会議開催件数の順位（都市別）	世界3位以内	世界5位以内
東京の文化的環境を楽しんでいる人の割合	70%	60%

### 第III章 主な施策展開

#### 戦略1 東京の特色を活かす観光振興

「食」の魅力の強化	東京の食の魅力の様々な側面について、海外へ発信を強化 ヴィーガンやハラールなど食の多様性への対応の支援 など
文化資源の活用促進	地域の文化資源を活用した観光振興の取組への支援 「アニメ東京ステーション」を活用した誘客 など
ナイトタイム観光の促進	プロジェクションマッピングの更なる展開 地域の特色を活かした夜間のイベント実施等へのサポート など
多摩・島しょ地域の 観光振興	自然などの地域資源を活かした体験型コンテンツの開発等への支援 年間を通じて安定的な集客を目指す取組の支援 など
より快適な観光を 実現するための環境整備	バリアフリー情報発信の利便性向上を図る取組へのサポート 東京の観光公式サイトを通じたチケット購入の円滑化 年齢や障害の有無に関わらず自然を楽しめる体験型観光の推進 観光ボランティアの聴覚障害者への対応力向上 など
新たな観光テーマの開拓	今後ニーズが高まる可能性のある新たな観光テーマの探求 東京の先進的なサービスを体験するモデルコースの作成 など

#### 戦略2 プロモーションの新たな展開

戦略的な海外プロモーション の推進	成長見込市場へのプロモーション強化 高い観光消費を見込める旅行者の誘客の推進、東京ブランドの発信 など
デジタルマーケティング の強化	個人の志向・関心等による旅のテーマや目的の多様化に対応したきめ細かい プロモーションを実現するためのデータ集約・分析基盤の構築 など
日本各地との連携の促進	関西自治体との相互プロモーションの実施 東京に滞在しながら都外の観光地を訪問する旅行についての発信 など
ビジネス交流の拡大	ユニークベニユーの活用促進、サステナビリティに配慮したMICE開催の支援 など

#### 戦略3 持続可能な観光地域経営の推進

観光関連事業者の経営力強化	観光産業の魅力発信等を通じた人材確保支援、デジタル化による業務効率化支援 など
地域における観光まちづくり の推進	地域の多様な主体が取り組む誘客への支援 観光関連事業者の災害対応力強化支援 など
サステナブル・ツーリズム の推進	旅行者のマナー啓発や、住民の旅行者受入気運の醸成 サステナビリティ確保の取組に係る国際認証取得のサポート など

# 観光立国推進基本計画（第5次）（概要）

## 課題・方向性

- 観光は、訪日外国人旅行消費額は9.5兆円（2025年速報）、そしてその経済波及効果は約19兆円に及ぶなど、地域経済や日本経済の発展をリードする戦略産業※である。また、国際相互理解の促進など、多面的に重要な意義を有する。  
※訪日外国人旅行消費額15兆円を達成した場合、経済波及効果は約30兆円規模と、幅広い産業に裨益することが見込まれる。
- 他方、観光を巡り顕在化している課題として、混雑・マナー違反等の個別課題への対応、特定の都市・地域への集中是正など、オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策の強化が不可欠。加えて、深刻な人材不足への対応、観光の高付加価値化、国内交流の拡大、災害や国際情勢等の様々なリスクに対する強靱性の確保などの課題への対応が不可欠。
- そのため、「観光の持続的な発展」、「消費額拡大」、「地方誘客促進」、「観光と交通・まちづくりとの連携強化」、「新技術の活用・本格展開」を施策の方向性として位置づけ、地域住民と観光客双方の満足度を向上させ、交流人口・関係人口を拡大するとともに、「住んでよし」「訪れてよし」に加え、「働いてよし」の観光産業の実現を推進するための施策を強力に推進。

## 施策の柱

計画期間：  
令和8～12年度  
(2026～2030年度)

### インバウンドの戦略的な誘客と 住民生活の質の確保との両立

- ・ 局所的・地域的に生じている混雑・マナー違反等の個別課題への対応（民泊関係含む）
- ・ 地方誘客を進めるための広域的な体制の整備
- ・ 地方誘客及び消費拡大に効果の高い観光コンテンツの充実
- ・ 地方部への交通ネットワークの機能強化

### 国内交流・アウトバウンド拡大

- ・ 休暇の分散・旅行需要の平準化
- ・ 関係人口の創出や二地域居住の促進
- ・ 国内・海外旅行の需要喚起に向けた機運醸成
- ・ 観光復興に向けた再生支援

### 観光地・観光産業の強靱化

- ・ 持続可能性を高めるためのインバウンド市場・観光コンテンツの多様化
- ・ 観光DX、省力化投資等による生産性向上
- ・ 健全な競争環境の整備
- ・ ユニバーサルツーリズムなど多様なニーズへの対応

目指すべき  
2030年の姿

戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光